

**留学先国名** : オーストラリア

**留学先学校名** : Deakin University

**留学期間** : 平成 28 年 2 月 13 日 ~ 平成 28 年 12 月 17 日

私はこのおおさかグローバル奨学金をいただき、約 10 か月オーストラリア・メルボルンにスタディーアブロードに行ってきました。最初の頃は、英語を話さなければ生きていけない、という環境やプレッシャーをとても負担に感じ、戸惑いの毎日でした。例えば、お店に行ったとき、何かを注文するのも周りの人の真似をするのが精一杯でした。しかし、生活していくうちに、それが生活の一部になっていきました。一つ私が気づいたことは、自分の英語に自信を持つことが大切ということです。自信がないときはよく聞き返されたりして、それでもっと自信を無くす、という悪循環が生まれました。私が自信をつけ始めたのは、語学学校を卒業し、大学が始まったときくらいでした。

私はユニでは 4 つ授業を取ったのですが、ひとつは‘Contemporary Dance Practice’ という教科書を取りました。日本でダンスの経験はまったく無かったのですが、少しでも現地の友達を作るため、また新しいことをはじめようとこの授業をとってみました。しかし、うまくいかないことの連続でした。第一に、ダンスの基本を全く知らない上で、大学の授業を受けるということ自体とても大変でした。私が初心者なので、あまり友達にも相手にしてもらえず、最初の頃はとてもつらい思いをしました。その中で必死にみんなに追いつこうと頑張った結果、チーム発表のときには声をかけてもらいオーストラリア人チームに入ることができました。最終発表のときには、チームワークや実力の伸びを認めてもらい、本当にこの授業を取ってよかったと心から達成感のようなものを得られました。また、チームメンバーの一人からダンス教室のセレモニーに参加しないかという誘いをもらって、二か月の間、必死に練習して、舞台を成功させることができました。きっと私が日本にいたら、新しいことに挑戦することもなかっただろうし、自ら進んであるグループに入っていく努力もしなかったと思います。というのは、こんな遠い国で学ぶ機会をもらっているのだから、何かしなくてはという強い意志のもとにできたことだと思います。

もうひとつ、私の留学生生活を意味あるものにしてくれたのは、アルバイトの経験でした。オーストラリアに行った当初は、アルバイトをするという考えは 1 ミリもありませんでした。英語をまともに話せもしないのに、働けるわけがない、と思っていました。しかし、語学学校で学びながら満足しない自分がありました。もっとネイティブスピーカーと触れ合いたい、早く実践で英語を伸ばしたいという気持ちでいっぱいでした。もしかすると、ここまで来てこれでいいのか、という不安もあったかもしれません。そんな時、チャンスが来ました。学校の近くのレストランでアルバイトを募集しているという情報が入ってきました。私はすぐに電話をかけ、無事面接をクリアしました。最初は自信の無さからくる焦りや緊張でミスを繰り返しました。お客さんの言っていることがわからなくて、怒らせたこともありましたが、しかし、慣れていくうちに自分の接客でお客さんが満足してくれることや、喜んでくれることに楽しみを覚えました。自分の言語でない英語で接客できること、そして日本のおもてなしが世界で通じたことがすごく嬉しく思いました。また、そこで出会った同世代の友達と過ごした時間が、

他の何にも代えることのできない大切な思い出となりました。

一緒に時間を過ごす中で、学校では習うことのできない、生活でよく使う英語なども習うことができとても良かったです。また、少しの間ホームステイをやめて、オーストラリア人の友達と住んでいましたが、そこでもとてもいい経験ができました。思いやりや親切は世界共通ということを、再確認できました。日本人以外の人種との距離の縮め方を、経験で学んだ気がします。こういう経験が将来、国境を越えた就職を考えたとき役にたつたらなあ、と思います。

上で述べたように、この10か月を通して本当にたくさんのものでました。新しいことに挑戦しやり遂げること、自ら違う集団に入り込むこと、自分で進んで何かチャンスを得ること、違う文化の人と距離を縮める方法など、人生で最も価値のある瞬間のひとつになったと思います。就職活動には、上で述べたすべての収穫をフルに利用することが大事だと思います。私はできるんだ、という強い意志をいつもどんな時も忘れず、尊敬される社会人になりたいと思います。

これから留学するみなさん、私は偉そうなことを言いましたが、実はとても小心者です。全く海外を夢見て留学を決めた、とかいうタイプではありません。でも、やらなくては、と思ったら嫌でもいろんなことに挑戦しました。そして怖かった海外生活を楽しむことができました。楽しむには自信が必要だとつくづく感じました。根拠のない自信も時には大事だそうです。頑張ってください。きっと、楽しめるはずです。ありがとうございました。